

Global and Innovation Gateway for All

GIGA 通信

-児童生徒1人1台端末の日常的な活用に向けて-



発行元

佐野市教育センター

佐野市上羽田町1134番地1

電話 20-3108

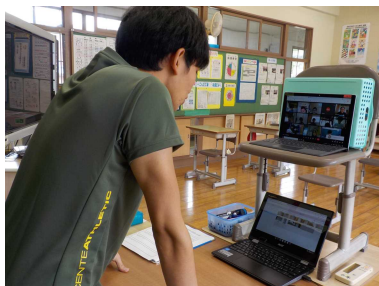
20-3048(相談専用)

8月30日からの臨時休校時におけるオンライン学習の実施では、大変お世話になりました。コロナ禍のやむを得ない措置とはいえ、家庭と学校をつなぐオンライン学習については初めての取り組みとなる学校も多かったと思います。にもかかわらず、市内全ての学校において、方法を工夫し、オンライン学習を実施いただきました。改めて、感謝申し上げます。期間中、何人かの校長先生から「この2週間で先生方のスキルは格段に上がりました。」との話をいただきました。学校再開後に今回の経験が子供たちへの指導の充実に繋がることを期待したいと思います。

さて、今回は、Meetを利用し、授業型のオンライン学習にいち早く取り組んでいただいた常盤小学校の実践を紹介いたします。

○休校を想定し、全学級でMeetでの授業

常盤小学校では、3班編制で時間割を作り、Meetを利用した健康チェックの後、約30分間を授業型のオンライン学習として実施していました。預かりの児童は、授業とは別の教室でオンライン学習



に参加します。取材にあたり取り組みの中心となった情報担当の佐藤先生にオンライン学習についてお聞きすると「戸惑いもありましたが、本校では教頭の指示もあり、夏休み前に全学級でMeetを利用した授業を行っていたので『来たか』という気持ちの方が強かったです。すでに多くの課題が見つかったので、〈黒板は受け手側からは

ほとんど見えないので授業者と児童はミニホワイトボードを利用し、カメラを意識すること〉〈受け手側では、ハウリングが起きるのでヘッドホンを利用すること〉等の工夫を行いました。」*との話を聞くことができました。

*これらの工夫は全て取材日(8/31)時点のもので、方法はさらに改善され、その後、黒板の利用も行いました。

また、Wi-Fi環境が整っていないご家庭や操作に不慣れなご家庭もあったことから、登校日の前に電話や家



庭訪問等によりオンライン学習への支援も行ったそうです。当日、モニター越しに保護者様にオンライン学習についての思いを聞くことができました。保護者様から「初めてのことなので、隣で補助していますが、明日からは一人でできそうです。大変なこともあります、子どもにとっては良い経験となると思っています。」との前向きな意見をいただきました。学校と保護者の良好な関係を感じました。

○『つながること』の大切さ

石島校長先生から「今回のオンライン学習を通して、改めて『つながること』の大切さを感じました。モニター越しでも児童の笑顔が確認でき、職員からも『前回の休校時とは違う』との声が上がりました。また、全職員のICTスキルの向上が図られたと同時に様々な指導の工夫を職員が主体的に行う様子を感じています。学校再開後が楽しみです。」とお話をお聞きしました。

今回の取材を通して、常盤小学校の先生方のオンライン学習への熱意とともに教師集団としての『勢い』を感じるようになりました。

(文責 教育センター所長)

～教育の力で佐野市を元気に～ 佐野市教育センターは皆さんの「やる気」と「不安」に応えます。